

コード	301030305
記入日	H23.5.30

課コード	133
課名	新魚目診療所
課長名	原 重光
担当者	田中 陽介

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	新魚目国保診療所管理運営事務費(歯科を含む)
----------	------------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 一 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010303	事務事業名称	国民健康保険診療所特別会計事業費	細目コード	
関連計画	医療体制再編計画	法令・条例規則等	新上五島町国民健康保険診療所条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 診療所地域住民		(対象指標1) 診療所圏内住民	約1,484人			
(対象2) 新魚目地区住民		(対象指標2)	約4,199人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・光熱水費・委託料等の一般管理費：13,856千円 ・研究研修費：41千円 ・薬の購入代等の医薬費：62,986千円 ・給食材料等の給食費：653千円 ・歯科の診察委託料：19,808千円 ・施設整備費：168千円	① (達成率分析)	年間診療可能日数 305日	101%	実診療日数+診療予定日数	***** 平成22年度
		② (達成率分析)			医療体制再編計画により、平成22年10月に入院部門が廃止となったことから、本来休診予定であった年末3日間を開所したため、増となっている。	
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・町民が健康で安心して生活ができるような診療体制を維持する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① (達成率分析)	外来受診率 32.04%	95.81%	実績(32.04%) + 計画(H21実績33.44%)	***** 平成22年度
		② (達成率分析)	歯科受診率 42.94%	107%	実績(42.94%) / 計画(H21実績39.94%)	***** 平成22年度
					平成21年度と比較してほぼ変わらない受診率となっている。	

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	2,020	2,021	1,718	302	305					
	②										
成果指標	① %	33.61	32.91	33.78	33.44	32.04					
	② %	46.14	44.96	45.34	39.94	42.94					
総事業費 C (A+B)	千円	1,426,477	1,416,630	1,218,821	207,656	197,809					
直接事業費 A	千円	771,977	762,130	663,721	108,256	98,409					
人件費 B	千円	654,500	654,500	555,100	99,400	99,400					
内訳	従事職員数	人	93.5	93.5	79.3	14.2	14.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	2,400	3,800	2,400	1,400					
	その他	千円	491,220	491,365	406,897	84,323	84,468				
	一般財源	千円	932,857	921,465	809,524	123,333	111,941				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	地域の医療を充実させ、医療に対する不安を解消するために必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	前年と比較してもさほど変わらない受診件数であり、事業を廃止することはできない。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	地域住民の健康の維持・増進を目的としており、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	地域医療の確保という面で成果をもたらしている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	不足している医師の雇用などの診療体制の充実により可能である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	高齢化が進む本町において、地域住民の健康に対する不安の増大や利便性の低下による経済的・精神的負担の増加などが懸念される。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	他に類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業費の大きな割合を占める医薬材料費をはじめ、ほとんどの物品購入や委託契約等において、複数業者からの見積り徴取などを行うことで可能な限り経費の削減を行っており、これ以上の削減は見込めない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	医療体制再編計画により平成22年10月から入院部門が廃止され、それに応じた人員削減を実施しており、これ以上人員を減らすことは管理運営を行う上で不可能である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	医療保険制度に則っており、受益者負担は適正である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	地域住民の健康の維持・増進のためには今後も事業を継続していく必要がある。
		有効性	医師の確保、医療機器の導入には財政的な負担も大きいですが、可能な限り雇用、整備することで医療サービスの向上に繋がり、ひいては患者の増加など成果の増大が見込まれる。
		効率性	現在の施設を管理運営していくためには、これ以上の経費の削減はできない。
		課題に向けた改善策	現在の運営形態を維持していく。
	2次評価	妥当性	住民の医療サービスの確保のためにも妥当である。
		有効性	町の医療再編計画により平成22年10月から入院部門が廃止されたが、外来診療体制については引き続き十分な体制をとり、地域住民サービスの低下とならないよう努めること。
		効率性	入院部門が廃止され、今後もより効率的な運営体制を図っていくこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。